

お客さまアンケート集計結果

横浜の中小企業の「明日」を身近でサポート



令和5年1月4日
経営支援部 保証統括課

目次

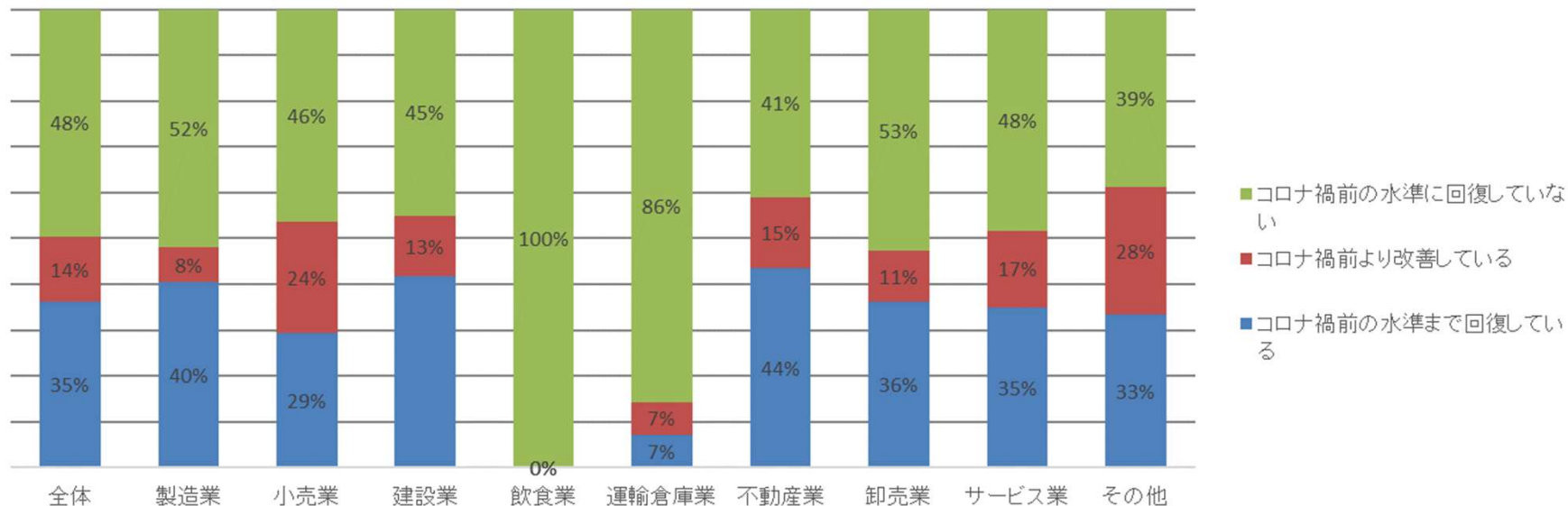
- 1. アンケート概要 ……P. 1
- 2. 調査結果 ……P. 2
 - (1) コロナ禍前と比較した足元の業況について
 - (2) コロナ禍前の水準に回復していない主な要因
 - (3) 令和4年度中の金融支援の利用予定について
 - (4) 抱えている経営課題
 - (5) 当協会に期待するもの
- 3. 参考 ……P. 7
 - ・ご回答頂いたお客さまの構成(業種、年商、従業員数、資本金)

1. アンケート概要

- ◆調査目的 : 当協会の保証付きで融資を受けた中小企業者に対しアンケートを実施し、実際にご利用いただいた方の保証推進に対する期待や要望、満足度等を確認することにより、今後の更なる保証推進に活かし、より効果的な施策を実施するため。
- ◆調査期間 : 令和4年9月15日～令和4年10月7日
- ◆調査対象 : 令和4年4月～同年6月に保証承諾した中小企業者の中から無作為抽出した1,000企業
- ◆調査方法 : 郵送による無記名アンケート
- ◆回答状況 : 回答率 : 41.3%

2. 調査結果

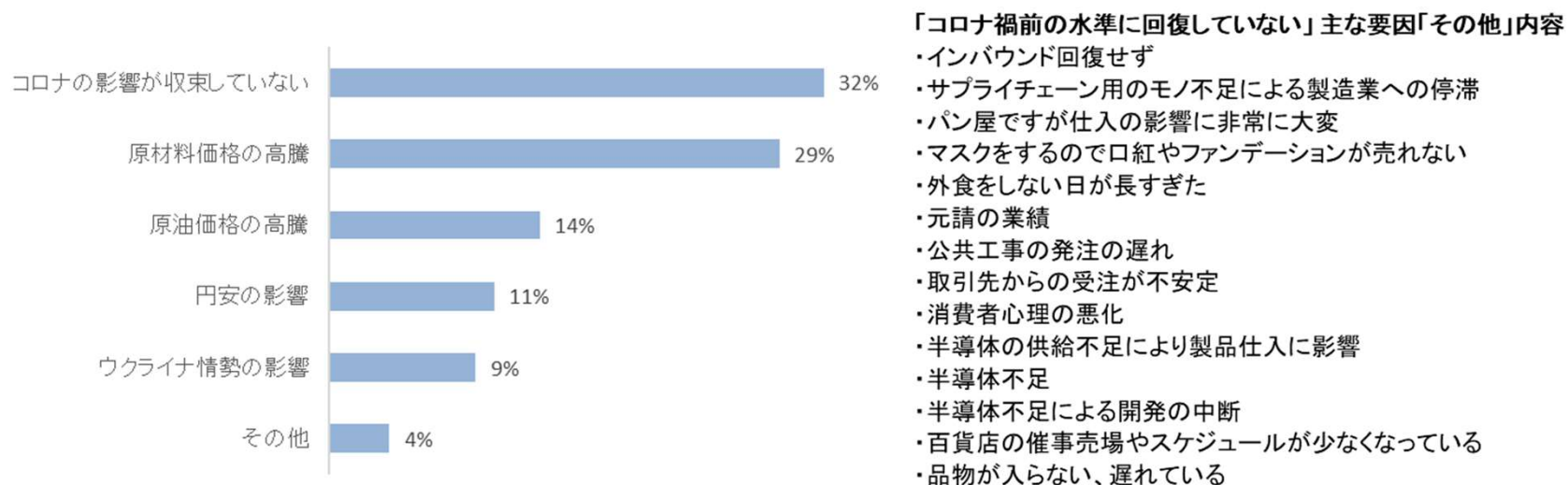
(2) コロナ禍前と比較した足元の業況について



- ◇「コロナ禍前の水準に回復していない」と回答した割合と「回復している」または「改善している」と回答した割合は、概ね半々の結果となりました。
- ◇飲食業は100%、運輸倉庫業は86%が「コロナ禍前の水準に回復していない」と回答し業種間で差がみられました。

2. 調査結果

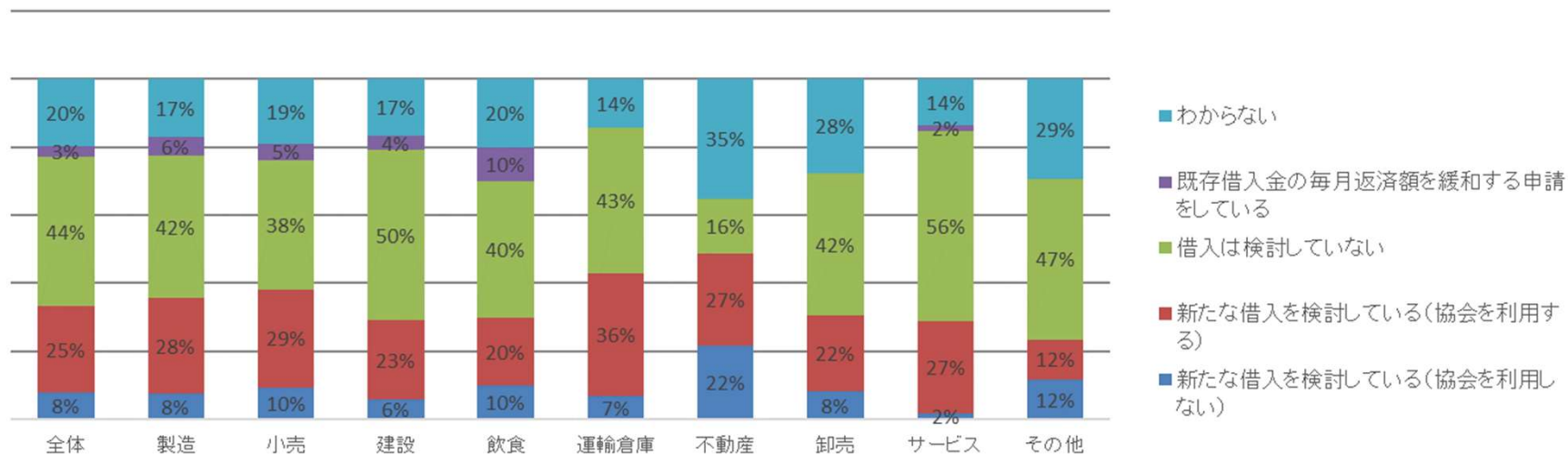
(2) コロナ禍前の水準に回復していない主な要因



◇「コロナの影響が収束していない」と「原材料価格の高騰」が約3割の他、「原油価格の高騰」も挙げられ、物価高の影響もみられました。

2. 調査結果

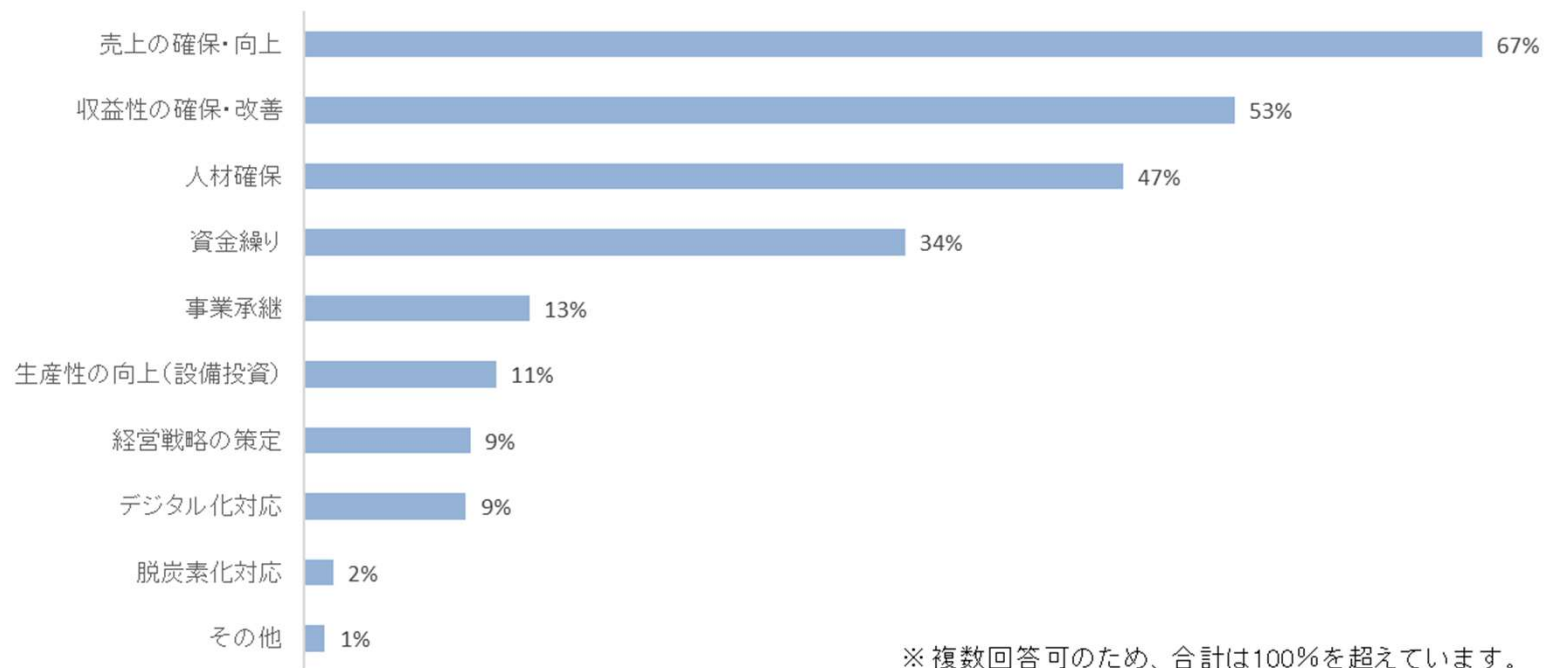
(3) 令和4年度中の金融支援の利用予定について



- ◇「借入は検討していない」と回答した割合が約4割となりました。一方で、「借入を検討している」(協会利用有無合計)は約3割、「わからない」約2割も 勘案すると、金融支援需要も一定数ある結果となりました。
- ◇各業種とも「わからない」の回答割合が2~3割程度あり、今後の見通しの不透明さを感じているお客さまが多い結果となりました。

2. 調査結果

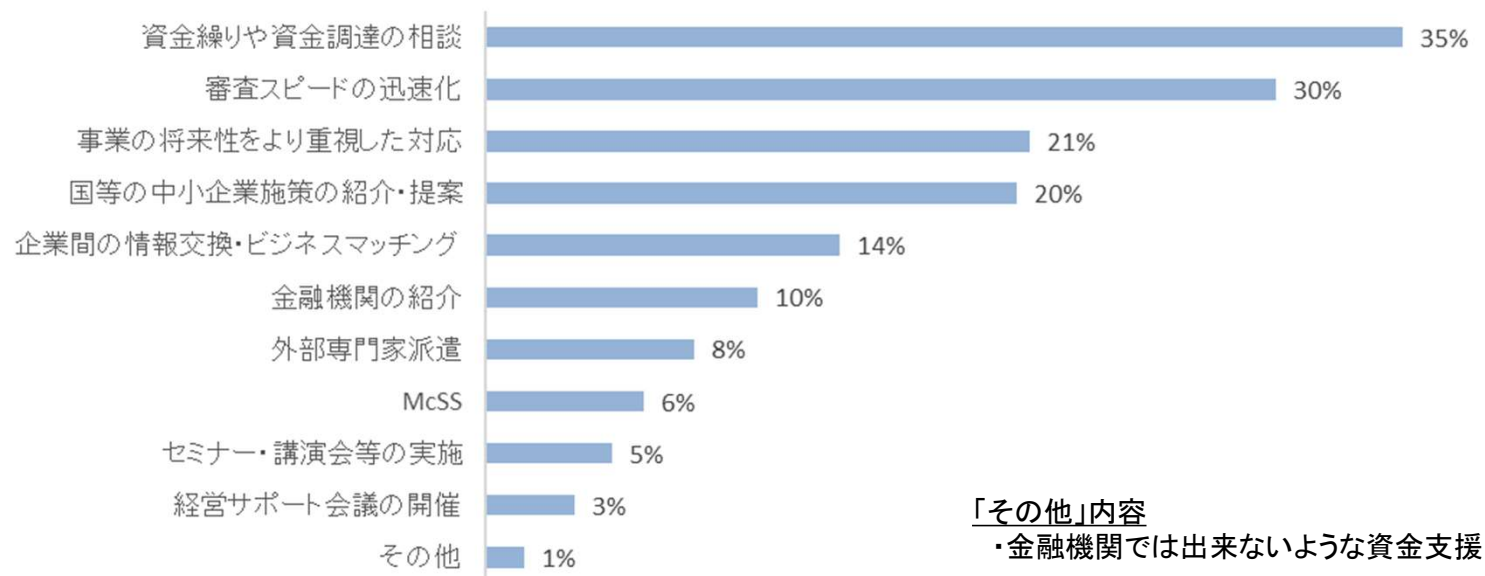
(4) 抱えている経営課題



◇「売上の確保・向上」が約7割、「収益性の確保・改善」が約5割の順に多い結果となりました。

2. 調査結果

(5) 当協会に期待するもの



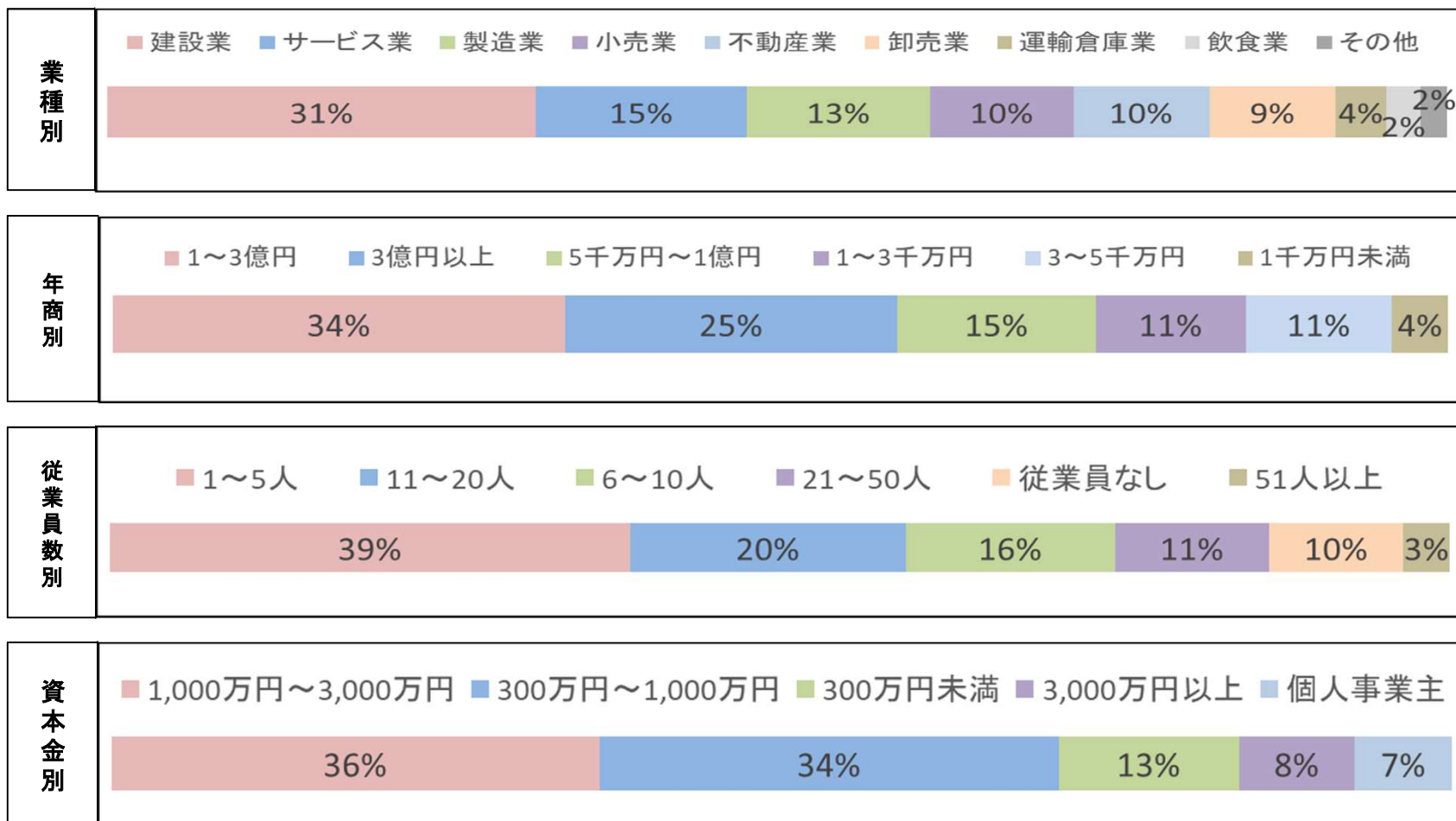
※複数回答可のため、合計は100%を超えています。

◇約3割が「資金繰りや資金調達の相談」と回答し、最も高い結果となりました。
当協会では、お客さまからの資金繰り相談等も随時承っております。

◇続いて、3割超が「審査スピードの迅速化」、「事業の将来性をより重視した対応」と回答されました。
引き続き、適切かつ迅速な対応に努めさせていただきます。

3. 参考

ご回答頂いたお客さまの構成(業種、年商、従業員数、資本金)



このたびはご多忙中にもかかわらず、
アンケート調査にご協力いただき、
誠にありがとうございました。

横浜市信用保証協会は、
横浜経済の活力ある発展に貢献すべく、
今後とも皆さまとともに歩んでまいります。

